研究指導の概要

■ 知能機能システム学位プログラム

【課程：博士前期課程】

<table>
<tr><th>学年</th><th colspan="2">学期
モジュール</th><th>研究内容及び指導方法等</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1
年
次</td><td rowspan="3">春</td><td>A</td><td rowspan="6">知能機能システム特別研究I（通年）：知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に必要な専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づき、修士論文の作成に向けて研究を実施する。また、研究室のゼミに参加して研究論文の紹介や研究成果の報告等を行うとともに、他メンバーの発表や報告を聞いて議論等を行う。これらを通じて、知の活用力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力、国際性を養う。

知能機能システムコアスタディ（春A,B）：知能機能システム分野における研究の基礎を、体系的かつ横断的に教授する。研究計画の立案、学術論文の書き方、国際会議への投稿、知財・特許、研究者倫理、について講述するとともに、連携大学院の研究室において実施している最新研究についての知見を深め、鍵となるアイディアについて議論を行う。これらを通じて、マネジメント能力、コミュニケーション能力、研究力、倫理観を養う。

知能機能システムセミナーI（通年）：知能機能システムの研究分野の概観を与える。受講者は、他の受講者の研究発表を聞いて質疑を行うと共に、各自の研究について異分野の人にも的確にわかりやすく発表する。これによって知能機能システムに関する幅広い専門知識とプレゼンテーション技術を学ぶとともに、知の活用力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力を養う。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
<tr><td rowspan="3">秋</td><td>A</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
<tr><td rowspan="6">2
年
次</td><td rowspan="3">春</td><td>A</td><td rowspan="6">知能機能システム特別研究II（通年）：知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究の発展に必要な専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づき、研究を実施して修士論文を作成する。また、研究室のゼミに参加して研究論文の紹介や研究成果の報告等を行うとともに、他メンバーの発表や報告を聞いて議論等を行う。これらを通じて、知の活用力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力、国際性を養う。

知能機能システムセミナーII（通年）：知能機能システムの研究分野の概観を与える。受講者は、各自の研究について異分野の人にも的確にわかりやすく発表するとともに、他の受講者の研究発表を聞いて質疑を行う。これによって知能機能システムに関する幅広い専門知識とプレゼンテーション技術を学ぶとともに、知の活用力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力を養う。

（秋学期）
□ 学位論文の公開審査および達成度審査により，修了要件を確認する。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
<tr><td rowspan="3">秋</td><td>A</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
</table>